

## 次期ユニバーサルデザイン推進計画策定方針案

(くらし・環境部県民生活課)

### 1 要旨

現計画の第5次ふじのくにUD行動計画が令和3年度に終了となる。

引き続きユニバーサルデザインの推進を図るため、ハート・ソフト・ハードの3つの柱により推進してきたこれまでの取組や、コロナ禍やSDGs、情報のデジタル化等の社会環境の変化を踏まえ、次期計画を策定する。

### 2 現状と課題

本県は、平成11年度からUDに取り組み、翌年度に最初の行動計画を策定して以降、切れ目なくUDを推進してきた。その間、「ユニバーサルデザイン政策大綱」の策定や、ハートビル法と交通バリアフリー法を統合・拡充したバリアフリー法、障害者差別解消法等の制定により、法的にもUDを推進する環境が整った結果、ハード・ソフト分野では一定の成果が表れている。

一方、コロナ禍において、感染者や医療従事者等への誹謗中傷や外国人差別、孤立し困窮する人の増加などに見られるように、社会の不寛容さが顕在化した。そのため、ハート分野での取組、特に一人ひとりに思いやりの大切さを働きかける心のUDを一層促進していく必要がある。

### 3 次期計画の概要

#### (1) 計画期間

2022年度～2025年度までの4年間

(静岡県の新ビジョン(総合計画)と同じ期間)

#### (2) 目標(仮)

すべての人が自由に活動でき、お互いを認め合い、

思いやりあふれる「美しい“ふじのくに”」づくり

#### (3) 策定における視点

##### ア 心のUDの促進

○ 第5次計画では、「心のUD」を掲げ、出前講座や実践講座等を通して思いやりの大切さについて啓発してきた。

○ コロナ禍によって明らかになった、感染者等への誹謗中傷、外国人差別などの課題に対応するため、次期計画ではハート分野での取組を重視し、特に一人ひとりに思いやりの大切さや困っている人への声かけ等の実践につながるよう、引き続き「心のUD」の促進を図っていく。

##### イ SDGsの観点からの推進

○ 「誰一人取り残さない」を理念として、すべての人のための目標達成をめざすSDGsと、「すべての人のためのデザイン」であるユニバーサルデザインには共通性がありお互いの取組は重なることからSDGsの観点からも推進を図る。

##### ウ ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックのレガシー継承

○ 観光施設への多言語表記の案内板導入や、おもてなし力向上のための研修会を通じた人材育成など、大会開催に向け実施してきた様々な取組によって、ユニバーサルデザインが身近になり、県民の理解が進んできた。

- 大会開催に伴う環境整備や、ボランティア向け講座等の取組による、ユニバーサルデザインへの意識の高まりを活用し、ユニバーサルデザインの普及・啓発につなげていく。

### (3) 数値目標

成果指標	総合計画における成果指標と同じにする。 「困っている人を見かけた際に声をかけたことがある県民の割合」
活動指標	取組の進捗状況を示すものとして、柱毎に1～2つ設定する。

### (4) 計画の推進体制

「静岡県ユニバーサルデザイン推進本部」を中心に取組を進め、外部有識者で構成される「静岡県ユニバーサルデザイン推進委員会」において、毎年度施策の実施状況の把握と計画の進捗状況の評価を行う。

## 3 スケジュール

時期	内容	議題
7月7日	ユニバーサルデザイン推進本部幹事会	策定方針・骨子案意見照会
9月13日	第1回ユニバーサルデザイン推進委員会	策定方針・骨子案審議
11月上旬	ユニバーサルデザイン推進本部幹事会	計画案審議
11月中旬	第2回ユニバーサルデザイン推進委員会	計画案審議
12月上旬	県議会常任委員会報告	
12月下旬	パブリックコメント（4週間）	
2月中旬	ユニバーサルデザイン推進本部会議	計画確定
3月下旬	計画公表 (総合計画と公表時期を揃えるため)	